

## 保守・サポート



## 訪問指導サポート

導入時におけるインストールや操作指導は専門インストラクターがご訪問し、ご説明いたします。



## リモートサポート

専門スタッフがインターネット経由でお客様のパソコン画面を確認させていただきながら、設定やトラブル解決方法をご案内させていただくサービスです。電話サポートと併用してわかりやすく解説するので、専門スタッフが隣にいるような感覚でサポートさせて頂くことが可能です。「今の状況をうまく説明できない」「電話の説明だけで分かるか不安」というお客様にも安心してご利用いただけます。

当サービスは「初期無料保守サービス」または「有料保守サービス」をご利用中の方を対象としております。



## 電話・メールサポート

操作方法や内容に関するご質問はサポートセンターへお問い合わせ下さい。また、図面データをメールに添付して頂くことによって、図面特有の内容にも専門スタッフが答えいたします。



## 最新版ダウンロード

いつでもPro12 最新プログラムをホームページからダウンロードしてご利用できます。

## ひらいだしくん series

製品名	型枠加工図	型枠平米数	コンクリート立米数	型枠材料	プロジェクトマネージャー
Pro12	●	●	—	●	●
Pro12EX	●	●	●	●	●
Pro12LT	—	●	—	—	●

## 動作環境

対応 OS	Microsoft Windows 11/10 各日本語版
ディスプレイ	解像度 1280×768 ピクセル以上を推奨
必要ディスク容量	プログラム50MB(データ領域は別途必要)
ディスクドライブ*	CD-ROMドライブ*(インストール時に必要)
その他	USB ポート×1 ポート(プロテクトキー装着用)

※本カタログに記載されている製品名は各社の登録商標または商標です。

※本カタログに記載された内容および製品の仕様・機能は改良のため予告なく変更する場合があります。

お問い合わせは TEL:0964-28-0011まで

## 製品デモンストレーション

スタッフがお客様の元へ訪問し、持参したパソコンを使って、実際に操作をしながら説明する製品デモンストレーションを随時受け付けています。



<http://www.sowa-kigyo.com>

最新情報やサポート情報、各種ダウンロードをはじめ、ユーザー登録など便利なサービスを実施しています。



株式会社創和企業

〒861-4211 熊本市南区城南町今吉野588-1

☎ 0964-28-0011 ☎ 0964-28-0261



<http://www.sowa-kigyo.com> ✉ [info@sowa-kigyo.com](mailto:info@sowa-kigyo.com)

販売代理店

型枠工事業 総合積算システム ひらいだしくんPro12

# ひらいだしくん

型枠工事業 総合積算システム

## Pro 12



株式会社創和企業

# ひらいだしくん

型枠工事業 総合積算システム

## Pro 12

型枠加工図・型枠数量・型枠材料を一気に積算！

CAD ファイル取り込みで入力手間を大幅に削減！

現在、躯体工事で最も重要とされる型枠工事の中で、工事金額の決定に関わる正確な型枠数量の把握。工程管理や現場コストに大きく左右される型枠加工図・型枠資材の拾い出しを熟練された技術者から開放し、専門知識がない初心者でもつかえる操作性と型枠数量積算や加工工程の省力化および合理化を目的とし、三十年にわたり研究を重ね生まれた「型枠積算システム ひらいだしくん」

型枠工事における生産性の向上を実現します！

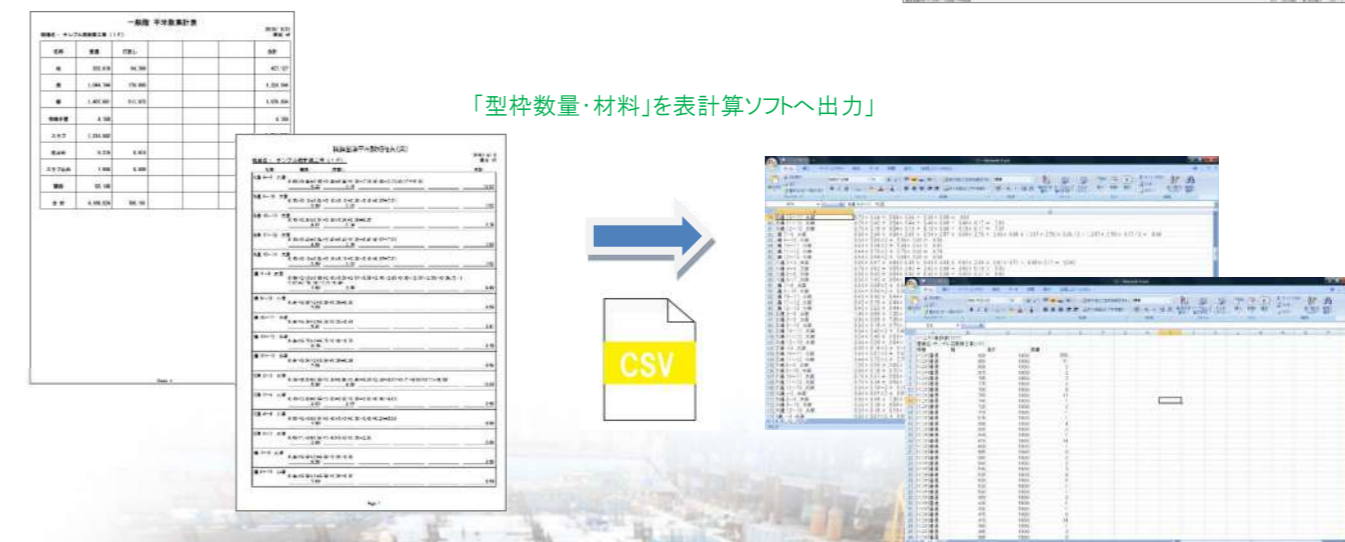
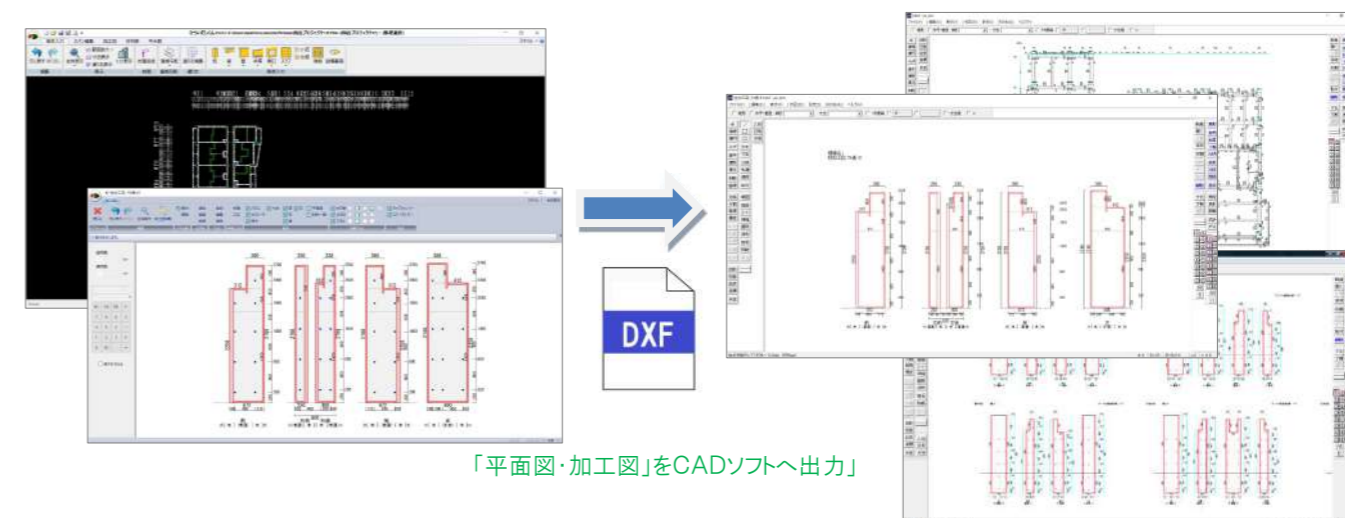
型枠加工図

型枠数量

型枠資材

## CAD・Excel への連携

平面図、加工図を DXF ファイルとして各種 CAD ソフトへ、平米数、材料数データを CSV ファイルへ出力して Excel などの表計算ソフトのデータとして編集可能です。



# プロジェクトマネージャー

「ひらいだしくん Pro12 プロジェクトマネージャー」を使えば、基礎、1F、2F、3F…等、それぞれのデータを一括管理することができます。また、プロジェクト詳細画面から各フロアの起動、上フロアへのコピーや型枠数量の一括印刷が可能です。



「プロジェクト一覧画面」

## ●プレビュー

プロジェクト一覧からプロジェクトを選択すると、プレビューを表示します。

## ●インポート・エクスポート

インポートで保存済みのプロジェクトデータの取り込み、エクスポートでプロジェクトデータのバックアップができます。



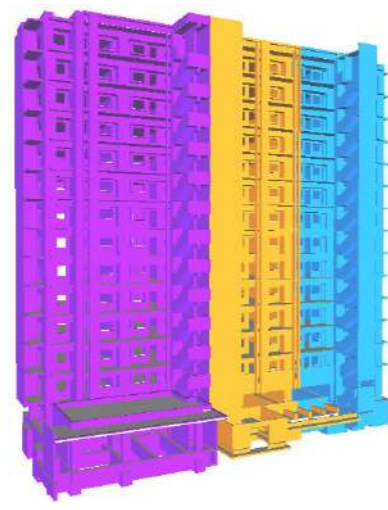
「プロジェクト詳細画面」

型枠体平米数高計表 (枠種別)		型枠体平米数高計表 (工区別)	
工区名	数量	工区名	数量
基礎	1,501,214	基礎	1,501,214
1F	2,008,802	1F	2,008,802
2F	1,998,548	2F	1,998,548
3F	1,997,950	3F	1,997,950
4F	1,998,403	4F	1,998,403
5F	2,001,192	5F	2,001,192
6F	2,005,175	6F	2,005,175
7F	2,005,123	7F	2,005,123
8F	2,006,424	8F	2,006,424
9F	2,008,960	9F	2,008,960
10F	2,008,568	10F	2,008,568
11F	2,008,300	11F	2,008,300
合計	24,294,300	合計	24,294,300

## ●型枠数量を一括印刷(枠種別、工区別、部別)



「部別別表示」



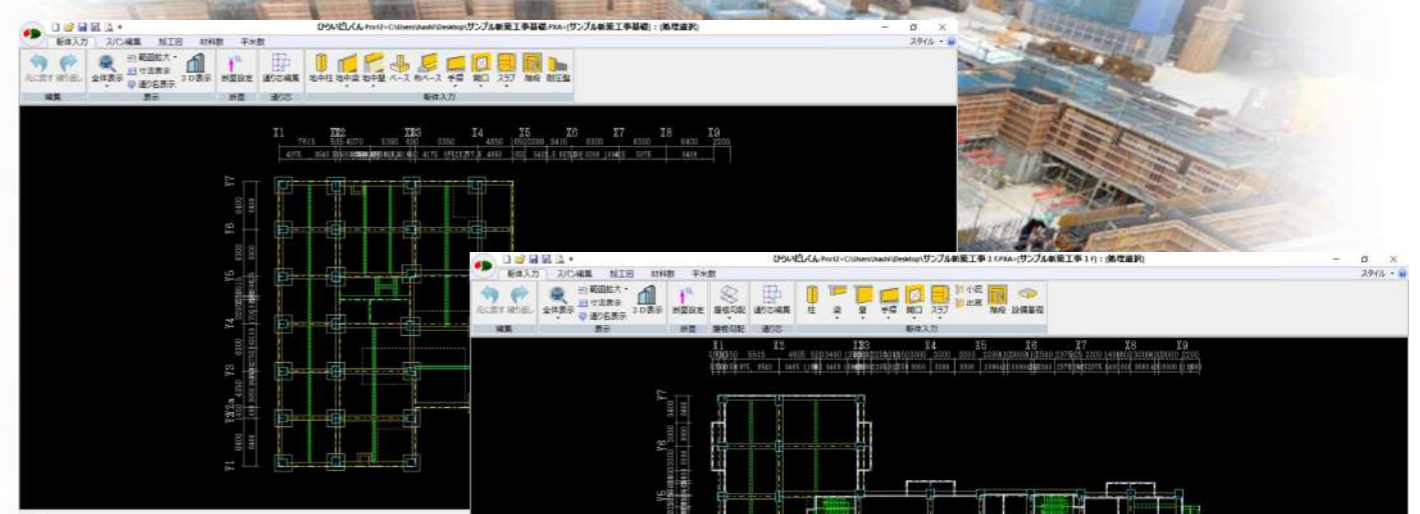
「工区別表示」



「枠種別表示」

# ひらいだしくん

「ひらいだしくん Pro12」は入力から加工図・型枠数量・型枠材料出力までのほとんどをマウス操作で行います。しかも入力は、設計図、施工図どちらでも簡単に入力ができ、コンピュータが初心者の方も使い始めたその日に仕上げて頂けます。また、入力支援の **CAD ファイル取込み機能**を使えば入力工程のおよそ6割以上の時間を短縮することができます。



「基礎平面図」

「一般階平面図」

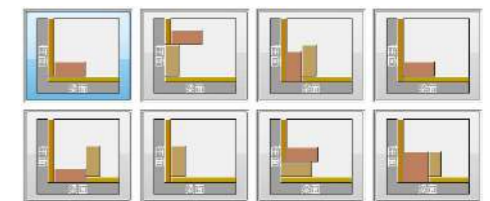
## ●躯体・型枠専用メニュー

ひらいだしくん Pro12 でのコマンドは躯体や型枠専用メニューです。断面設定・屋根勾配・通り芯編集…などひと目で理解できるメニューです。



## ●取り合いは自由設定

設定する取り合いは8種類の取り合いパターンから選択。もちろんユーザーオリジナルの取り合いも設定可能です。



## ●記号入力

各部材には記号入力ができます。入力された記号は、平面図、加工図等に表示されます。

## ●電卓キー表示

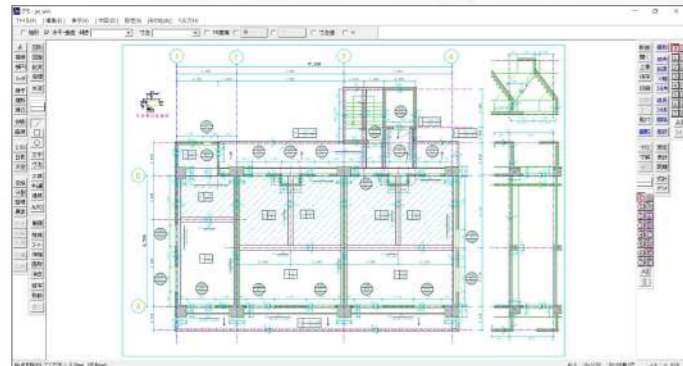
入力には便利なテンキー(電卓機能)を用意。キーボード操作を行わずにマウス入力が進められます。



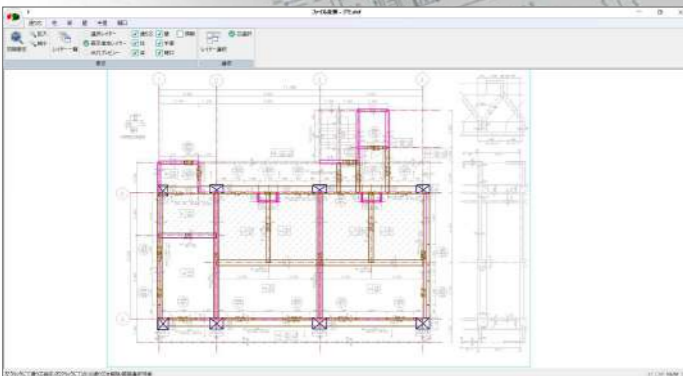
# CAD データからの平面図作成



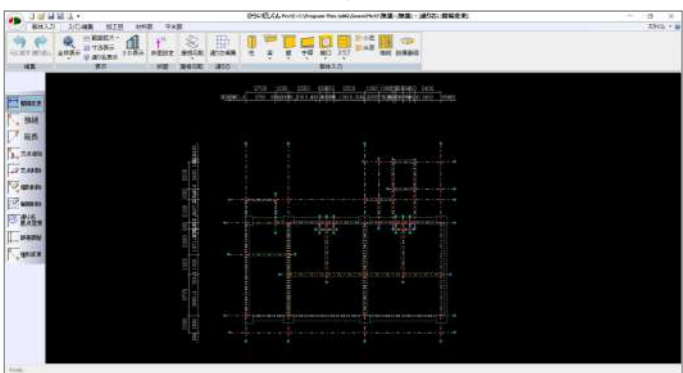
ひらいたしくん Pro12 には CAD データから躯体情報を取り込む入力支援を用意しています。また、取込後の躯体情報の修正も自由ができます。



「CAD データの図面」

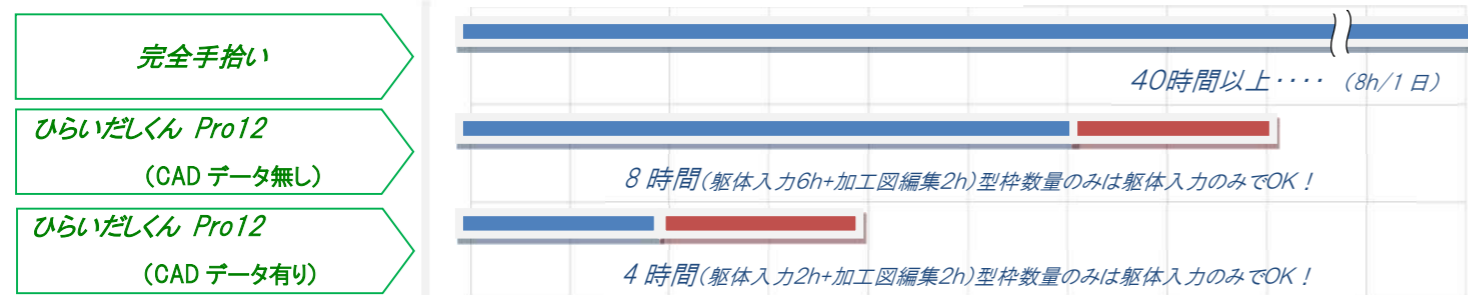


「PFE コンバータで取込・編集」



## 「当社調査比較による積算時間(加工図・材料含む)の比較」

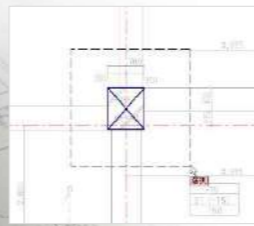
データ情報: RC 5,000 m<sup>2</sup> 特老施設(1フロアのみ積算)



取引先から提供される CAD ファイルを活用することにより、拾い出し完了までの時間を大幅に短縮します!

### ●柱取込み

目的の柱をクリックまたは左ドラッグで囲むだけで自動認識します。



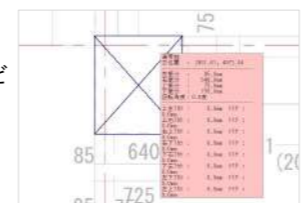
### ●数値取込み

梁成やレベルなど記号の数値をクリックするだけで認識します。



### ●サイズ確認

登録された部位のサイズなどの情報を常に確認できます。



### ●保存機能

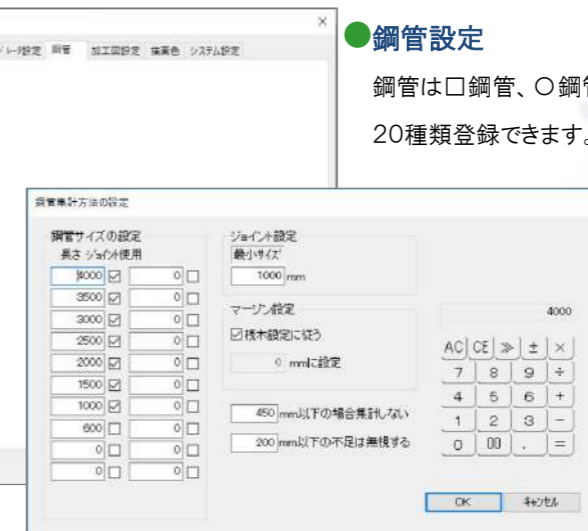
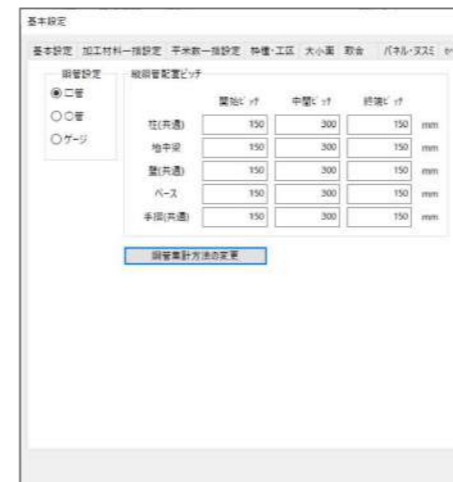
DXFコンバータでは作業途中の状態をいつでも保存することができます。

# 型枠材料

型枠材料は部位別にベニヤ、桧木、鋼管、サポート、セパレータ等が集計されます。

### ●鋼管設定

鋼管は口鋼管、O鋼管、ケージの3種類。また、サイズは20種類登録できます。



＜桧木・鋼管・金物 集計表(梁) 日付: 2016/ 6/21

部材	寸法	本数	寸法	本数	寸法	本数
桧木	4000 mm	717	2500 mm	18	2000 mm	77
鋼管	4000 mm	146	1500 mm	421	1000 mm	42
金物	4000 mm	428	2500 mm	21	2000 mm	88
フタ	1200 mm	53	1500 mm	446	600 mm	133

＜ベニヤ 集計表(梁) 日付: 2016/ 6/21

部材	寸法	本数	寸法	本数	寸法	本数
ベニヤ	1,800 mm	996	1,800 mm	872	1,800 mm	782
ベニヤ	1,800 mm	772	1,800 mm	749	1,800 mm	727
ベニヤ	1,800 mm	724	1,800 mm	712	1,800 mm	710
ベニヤ	1,800 mm	706	1,800 mm	702	1,800 mm	697
ベニヤ	1,800 mm	672	1,800 mm	670	1,800 mm	668

＜セパレータ 集計表(梁) 日付: 2016/ 6/21

部材	寸法	本数	寸法	本数	寸法	本数
セパレータ	445 mm	9	375 mm	16	300 mm	3
セパレータ	455 mm	5	445 mm	28	425 mm	10
セパレータ	285 mm	11	360 mm	17	315 mm	25
セパレータ	260 mm	2	350 mm	177	315 mm	4
セパレータ	225 mm	8	300 mm	402	260 mm	28

### ●各部位別の集計表と明細表が印刷できます。

＜鋼管・金物 明細表(梁) 日付: 2016/ 6/21

部材	寸法	数量	寸法	数量	寸法	数量
鋼管	4000 mm	146	1500 mm	421	1000 mm	42
金物	4000 mm	428	2500 mm	21	2000 mm	88
フタ	1200 mm	53	1500 mm	446	600 mm	133

＜ベニヤ 明細表(梁) 日付: 2016/ 6/21

部材	寸法	数量	寸法	数量	寸法	数量
ベニヤ	1,800 mm	996	1,800 mm	872	1,800 mm	782
ベニヤ	1,800 mm	772	1,800 mm	749	1,800 mm	727
ベニヤ	1,800 mm	724	1,800 mm	712	1,800 mm	710

＜セパレータ 明細表(梁) 日付: 2016/ 6/21

部材	寸法	数量	寸法	数量	寸法	数量
セパレータ	445 mm	9	375 mm	16	300 mm	3
セパレータ	455 mm	5	445 mm	28	425 mm	10
セパレータ	285 mm	11	360 mm	17	315 mm	25
セパレータ	260 mm	2	350 mm	177	315 mm	4
セパレータ	225 mm	8	300 mm	402	260 mm	28

## 型枠数量・工区設定

工事金額の決定に関わる重要な型枠数量は、各部材の接続部などを控除した「**躯体実数量**」と建築積算研究会制定の「**建築数量積算基準数量**」の2種類があります。集計表と部位別明細があり、一部の明細には積算根拠を確認できる計算式が印刷されます。また、あらかじめ工区を設定することによって工区別の印刷も可能です。

名称	普通	打放し
柱	291.538	194.358
梁	835.006	264.082
壁	729.602	608.750
手摺		103.836
スラブ	964.987	99.102
柱止め	0.069	1.520
スラブ止め	0.705	6.879
階段	29.950	66.936
合計	2,851.857	1,345.463

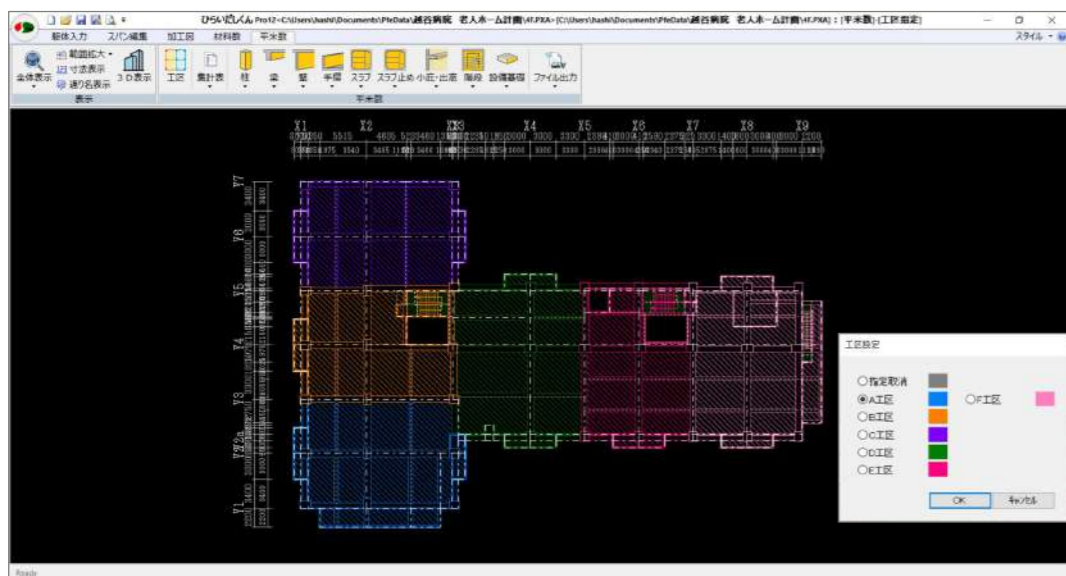
  

名称	全体	切欠
Y1通 X2~X3 (G1) 大梁 [0.550×0.900]	6.550×0.750 6.550×0.500 0.400×6.550 10.808	4.913 3.275 2.620 0.133
Y1通 X3~X4 (G1) 大梁 [0.550×0.900]	5.970×0.750 5.970×0.500 0.400×5.970 9.851	4.478 2.985 2.388 0.158
Y2通 X1~X2 (G2) 大梁 [0.550×0.900]	6.250×0.750 6.250×0.500 0.400×6.250 10.313	4.688 3.125 2.500 0.158
Y2a通 X2a~X3 小梁 [0.300×0.225]	3.325×0.075 0.249	0.249
Y3通 X1~X2 (G3) 大梁 [0.550×0.900]	6.250×0.750 6.250×0.500 0.550×6.250 12.814	4.688 3.125 3.438 0.158
Y3通 X2~X3 (G4) 大梁 [0.550×0.900]	0.515×0.750 1.350×0.675 4.085×0.650 3.275×0.750 3.275×0.675 0.550×6.550 12.612	0.386 0.911 3.042 2.456 2.211 3.603 12.612
Y3通 X3~X4 (G3) 大梁 [0.550×0.900]	5.970×0.750 5.970×0.500 0.550×5.970 12.280	4.478 2.985 3.284 0.158

名称	普通	合計
Y1通 X2~X3 (G1) 大梁	0.75×6.55+6.55×0.55+0.50×6.55=11.79 11.79	11.79
Y1通 X3~X4 (G1) 大梁	0.75×5.97+5.97×0.55+0.50×5.97=10.75 10.75	10.75
Y2通 X1~X2 (G2) 大梁	0.75×6.18+6.25×0.55+0.50×6.25=11.20 11.20	11.20
Y2a通 X2a~X3 小梁	0.08×3.33=0.27 0.27	0.27
Y3通 X1~X2 (G3) 大梁	0.75×6.25+6.25×0.55=12.81 12.81	12.81
Y3通 X2~X3 (G4) 大梁	6.55×0.55+0.65×4.69+0.75×3.28+0.68×3.28+0.68×1.35+0.75×0.52=12.65 12.65	12.65
Y3通 X3~X4 (G3) 大梁	0.75×5.97+5.97×0.55=12.24 12.24	12.24
Y3a通 X1~X2 (B7) 小梁	0.55×6.25+0.50×6.25+0.25×6.35=8.75 8.75	8.75
Y3a通 X2~X3 (B7a) 小梁	6.95×0.35+0.45×1.89+0.70×2.35+0.48×2.83+0.45×1.78+0.48×1.35+0.55×0.72=9.48 9.48	9.48
Y3b通 X2~ 小梁	0.23×2.83=0.65 0.65	0.65
Y3b通 X2~X3 (B7a) 小梁	0.70×5.87+0.70×2.35+0.45×1.78+0.25×2.83+0.25×1.18+(7.04+6.90)×0.35/2-(5.87+5.78)×0.18/2=8.96 8.96	8.96
Y3b通 X3~X4 (B4) 小梁	0.55×5.97+5.97×0.35=8.66 8.66	8.66

- 枠種(仕上げ)を設定することで最大10項目に分けて積算できます。
- 型枠数量印刷と同時に、コンクリート数量(立米数)も印刷可能です。(オプション販売)
- 段差枠はメートル積算も可能です。

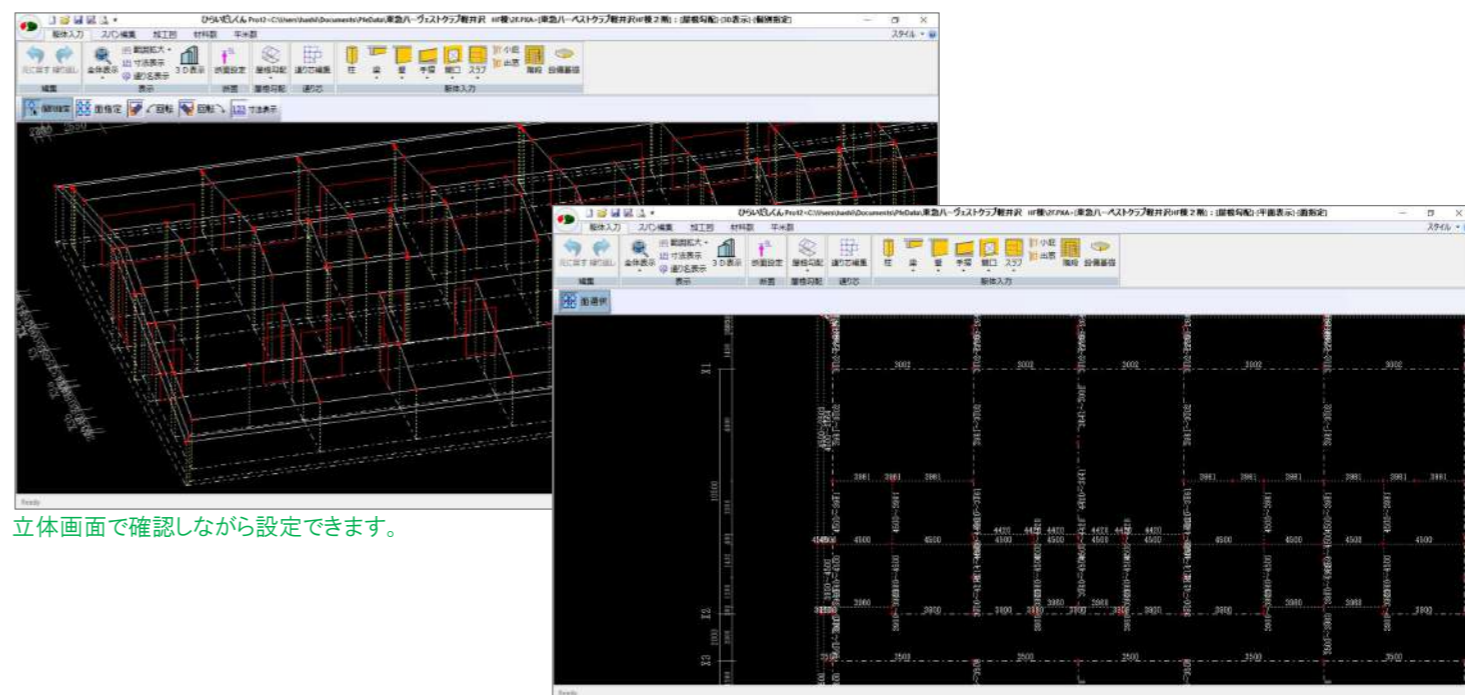


「工区設定画面」

- 工区分けは範囲を指示して選択するだけ。通り芯や各部位面で分けることができます。(最大10工区可能)
- 工区分けの確認は平面図で色分けして表示されます。(3D表示でも確認可能)

## 屋根勾配・3D表示

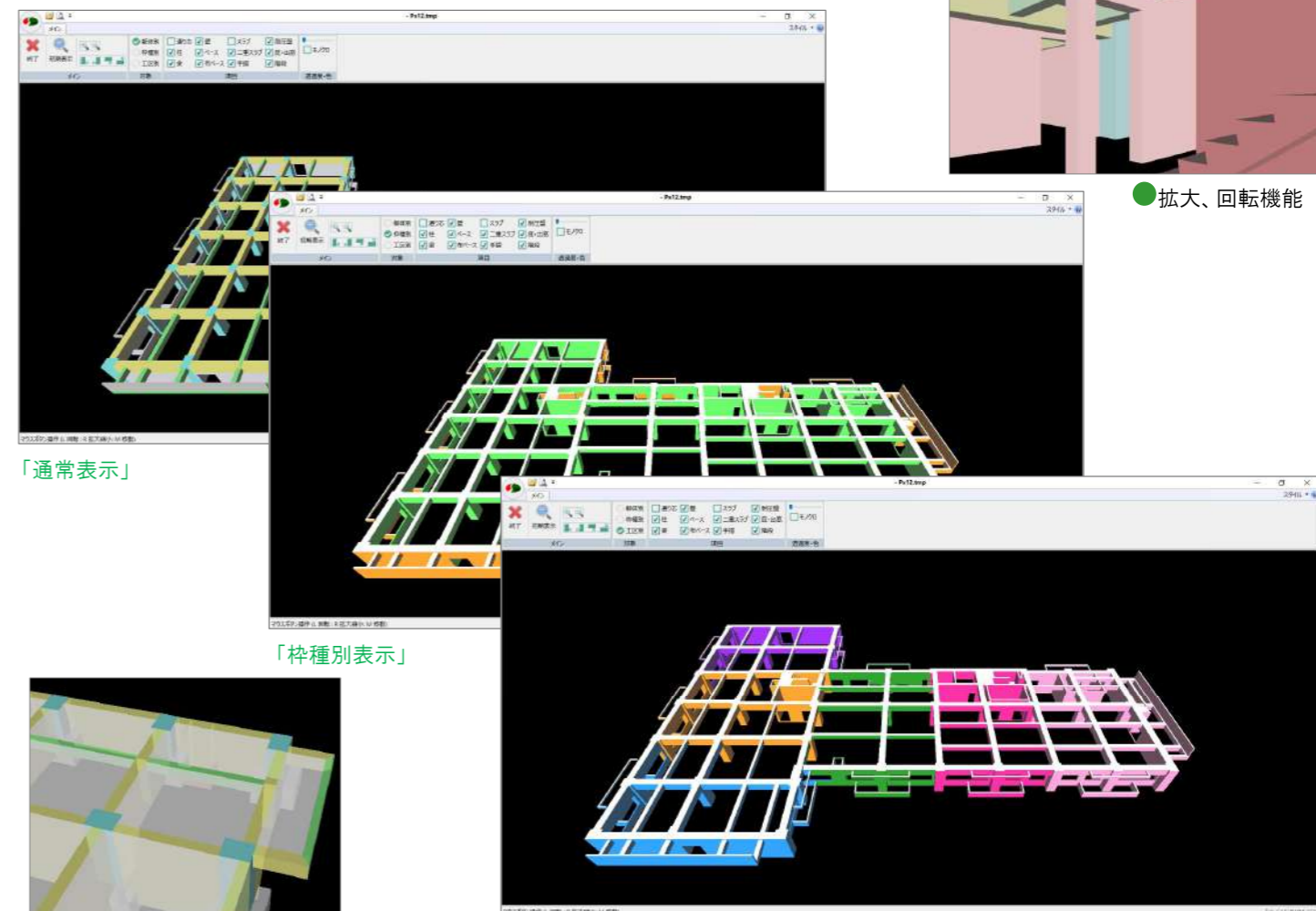
複雑な勾配屋根の図面は「**屋根勾配**」で入力。取り合い部分の確認は「**3D表示**」で確認できます。



立体画面で確認しながら設定できます。

平面図で数値を確認しながら設定できます。

- 入力された図面の外観や内部の躯体の状況を把握でき、枠種別、工区別にも表示できます。



「通常表示」

「枠種別表示」

「工区別表示」

● 拡大、回転機能

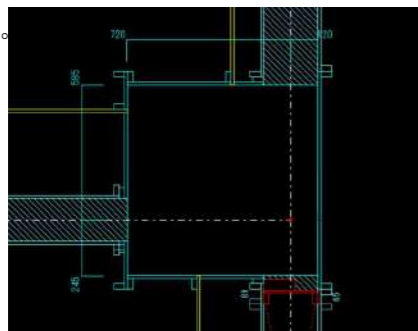
- 透過表示で内部の状況を確認

# 型枠加工図

自動生成された加工図はパネル割やセパ割の追加、変更などをスマートに操作可能です

## ●取合い表示

加工平面図で各部材の接合部の取り合い、大面、小面が確認できます。



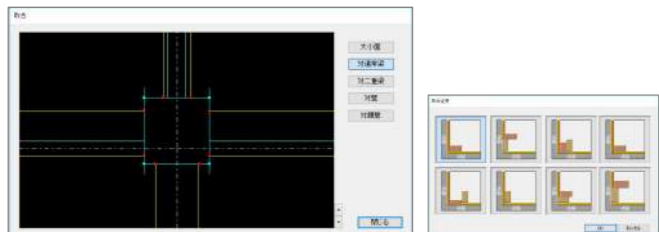
## ●パネル配置図

壁、地中梁、ベースなど、パネル配置が確認できます。



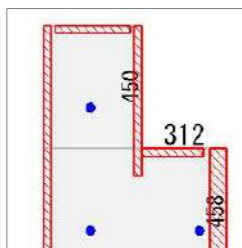
## ●取り合い・大小面変更

納まりの関係で変更となる取り合いや、大小面の変更も画面で確認しながら変更できます。



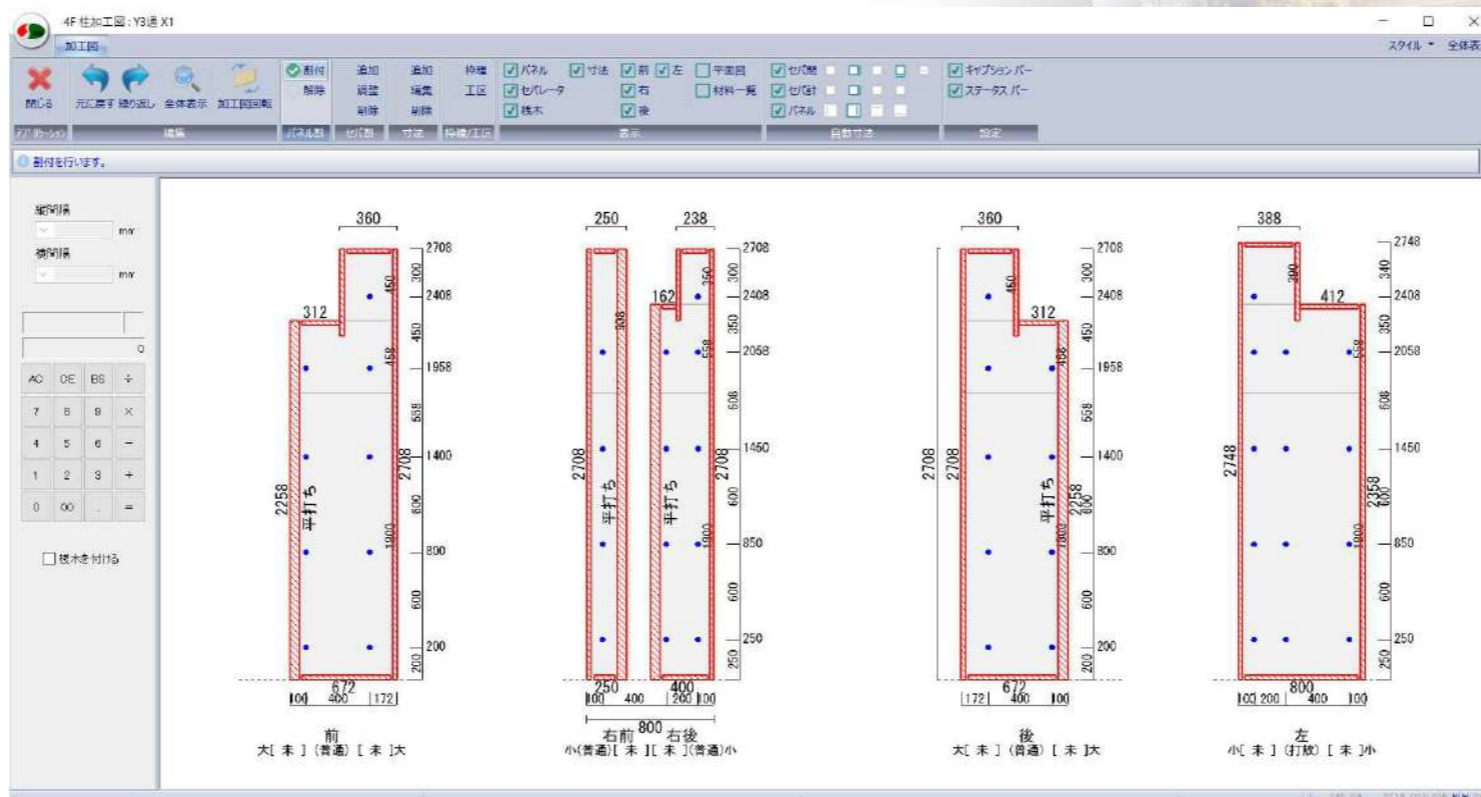
## ●棧木の表示

棧木の有無や平打ちや控えなど加工する人が一目でわかるよう表示されます。



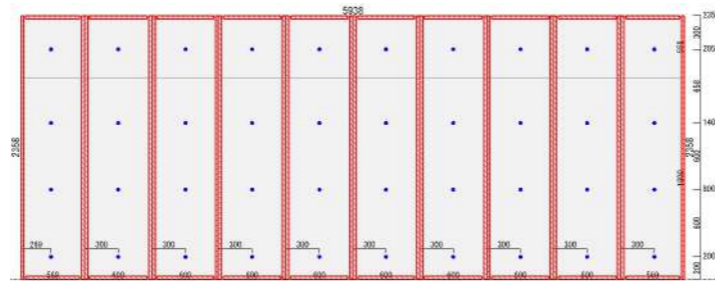
## ●DXF ファイル出力

加工図を DXF ファイル出力することで、JW\_CAD や AutoCAD など各種 CAD ソフトでの編集が可能です。



## ●パネル・ベニヤ割付

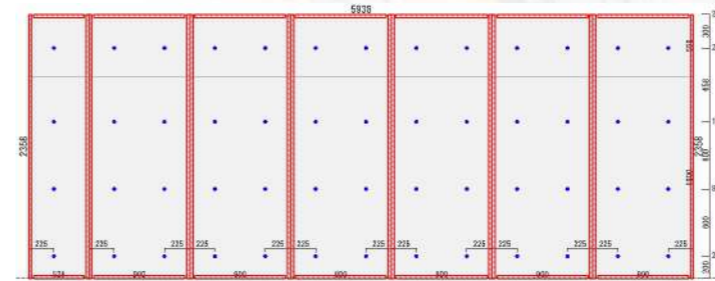
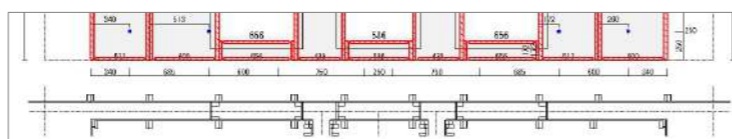
割付方向や補助位置の変更のほか、棧木の表示設定などができます。



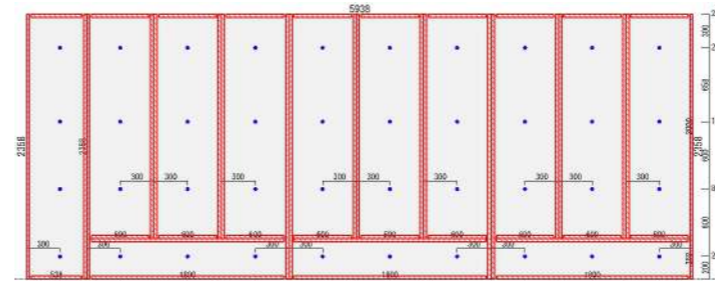
「600×1800 で割り付け両端に補助」

## ●平面図表示

加工図下部に平面図を表示可能です。



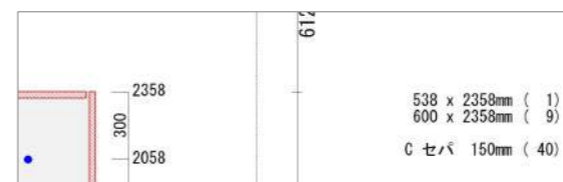
「900×1800 で割り付け左端に補助」



「600×2000 で割り付け、下部に 1800×358 の補助」

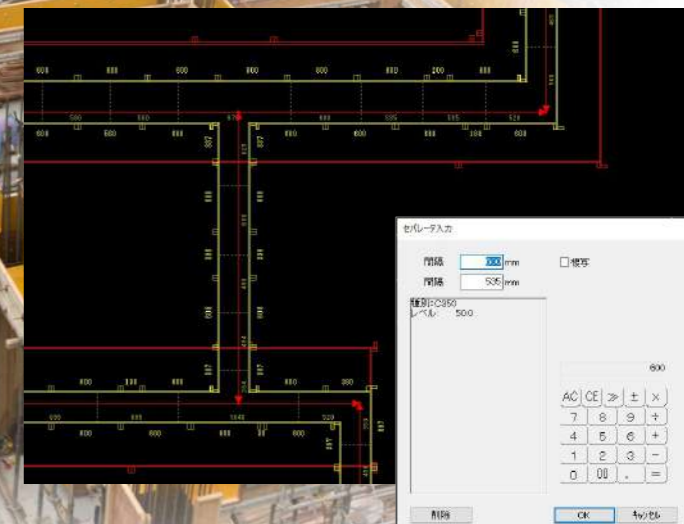
## ●材料表示

加工図右部に材料を表示可能です。



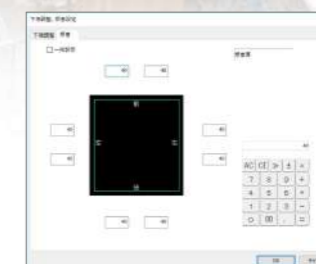
## ●セパレータ割付図

平面図でのセパ割表示。移動、複写、削除が可能です。

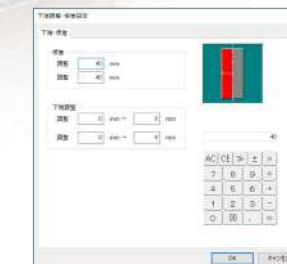


## ●下端調整・根巻変更

柱、壁加工図は各面ごとに、下端の上下や根巻の変更が可能です。



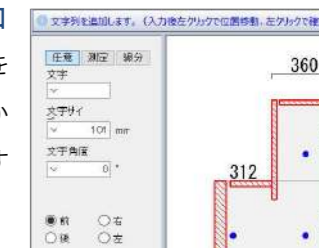
「柱調整画面」



「壁調整画面」

## ●文字列、線分、測定値の追加

加工図に文字列、線分、測定値を追加、編集できます。また、あらかじめ定型文字列を10種類登録することが可能です。



## ●表示レイヤーの選択

各加工図では、加工面の1面表示や並べて表示することが可能です。(スパン分けの関係で表示したくない面を非表示にすることができます)

## ●ズーム機能

マウスホイールでの拡大・縮小  
右ボタンでの部分拡大、全体表示  
ができます。

- ホイールスクロール: 拡大縮小
- ホイールドラッグ: 移動
- 左右ボタン下ドラッグ: 部分拡大
- 左右ボタン上ドラッグ: 全体表示